

《校 章》



《校章の由来》

☆武小の文字に丸みをつけて、明朗と健康を表す。

(将来の幸福の基盤は健康である)

☆葦の葉6枚で6つの町内を表現し、お互いに交差して調和と団結を表す。

(力を合わせて武小の発展を希求する)

☆6つの隅、先端の角は個性と知性、葦の葉はペンをデザインして学問を表す。

(学問を究める)

☆稲の穂は、町内の頭文字、豊・富・芦・田・豊・福、葦は実りを表す。

(稲は6つの町内が田園を中心として繁栄を願う)

制作：櫻庭 利弘氏

校 歌

弥富破摩雄
小松 耕輔
傍島市五郎

作詞
作曲
修正

一、東も西も隈なく照らす

文化日本のあまねき光

建てし民主の旗鮮やかに

いざや進まん足音高く

二、机に寄りて心を修め

土に親しみその身を錬う

日毎通いて学びの庭に

ひたすら研く唯この誠

三、春は霞の岩木の高嶺

秋は瑞穂の若宮広野

清き自然の武田の里に

いざ伸び立たん若人われら